



2020年12月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 妙徳

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

定時株主総会開催予定日 2021年3月24日

配当支払開始予定日

2021年3月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年3月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,183	△4.8	340	58.8	357	55.8	244	65.7
2019年12月期	2,294	△16.6	214	△47.7	229	△45.7	147	△52.4

(注) 包括利益 2020年12月期 228百万円 (15.9%) 2019年12月期 196百万円 (△10.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	157.41	157.39	5.3	7.0	15.6
2019年12月期	96.40	95.73	3.3	4.6	9.3

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 ー百万円 2019年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	5,241	4,772	90.5	3,048.52
2019年12月期	5,034	4,581	90.4	2,950.28

(参考) 自己資本 2020年12月期 4,745百万円 2019年12月期 4,551百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	508	△210	△35	1,889
2019年12月期	626	△153	△52	1,628

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00	61	41.5	1.4
2020年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00	62	25.4	1.3
2021年12月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00		24.6	

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年 1月 1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,080	△0.4	125	△24.4	137	△23.4	88	△25.9	57.17
通期	2,200	0.8	268	△21.0	288	△19.3	189	△22.5	121.99

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年12月期	1,657,000 株	2019年12月期	1,657,000 株
2020年12月期	100,416 株	2019年12月期	114,331 株
2020年12月期	1,555,995 株	2019年12月期	1,533,648 株

(参考) 個別業績の概要

2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	1,847	△3.3	336	50.4	366	42.7	259	56.8
2019年12月期	1,910	△14.8	223	△23.5	256	△21.9	165	△34.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	166.50	166.48
2019年12月期	107.70	106.95

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	4,825	4,400	91.2	2,826.79
2019年12月期	4,606	4,193	91.0	2,717.43

(参考) 自己資本 2020年12月期 4,400百万円 2019年12月期 4,192百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

2021年2月18日 (木) ……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安が蔓延する中、米中間の摩擦にも緩和の兆しが見えず、経済全般の鈍化が顕著となり、厳しい状態が続きました。また、日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続き、設備投資に慎重な姿勢が見られるなど、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、開発型メーカーとしての独自製品開発と、主力製品の基礎研究を強化する取り組みを行いました。また、社内システムの改善を推進し、生産効率の強化を実施しました。販売面においては、営業活動が制限を受ける中、業界を絞り込んだロボット関連製品開発と販売促進に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、連結売上高は2,183,479千円（前年同期比95.2%）、連結経常利益は357,728千円（前年同期比155.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益は244,931千円（前年同期比165.7%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販とパソコン需要の拡大に伴う、半導体及び電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。また、環境に配慮した電気駆動の製品もラインナップに加えました。国内においても、新型コロナウイルス感染症拡大による先行き不安から、設備投資の縮小がありました。

この結果、売上高は1,585,705千円（前年同期比98.5%）となりました。営業利益については334,103千円（前年同期比145.4%）となりました。

（韓国）

一般産業機器の自動化装置向けに、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。半導体製造装置業界や液晶関連設備業界に対しては独自製品の投入や現地メーカーへのOEM製品投入を行いました。世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による、大手企業の設備投資縮小の影響を受けました。

この結果、売上高は334,124千円（前年同期比82.4%）となりました。営業損失については19,783千円（前年同期は営業損失42,598千円）となりました。

（中国）

新型コロナウイルス感染の対策により、経済活動は回復基調にあり、半導体関連装置、ロボット関連製品の需要は回復基調となりました。しかしながら、米中対立問題の懸念もあり、経済の先行き不安感が払拭できない状況で推移いたしました。この結果、売上高は143,593千円（前年同期比104.4%）となりました。営業利益については19,737千円（前年同期比88.6%）となりました。

（その他）

タイ国子会社においては自動化設備及びロボット関連設備への拡販活動を行いました。タイ国周辺諸国では、半導体生産設備への拡販活動を推進するとともに、液晶関連設備業界への製品投入も行いました。タイ国内では食品業界及び自動車関連設備への製品投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新型コロナウイルス感染症拡大が顕著となり、営業活動自粛の影響を受ける中、既存販売店への拡販活動を行いました。

この結果、売上高は120,057千円（前年同期比84.8%）となりました。営業利益については6,168千円（前年同期比129.7%）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ259,761千円増加し、3,002,856千円となりました。これは主として、現金及び預金が261,356千円、製品が19,201千円、仕掛品が16,578千円増加したのに対し、電子記録債権が32,856千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ52,393千円減少し、2,238,550千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ207,368千円増加し、5,241,407千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9,630千円増加し、310,216千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が16,510千円、未払法人税等が58,314千円増加したのに対し、流動負債「その他」が64,230千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6,394千円増加し、158,349千円となりました。これは主として、退職給付に係る負債が6,828千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ16,024千円増加し、468,565千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ191,343千円増加し、4,772,841千円となりました。これは主として利益剰余金が182,944千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は90.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べて260,625千円増加し、1,889,555千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益356,396千円に加え、減価償却費196,235千円、売上債権の減少額30,109千円、仕入債務の増加額17,053千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額52,915千円、たな卸資産の増加額38,772千円等の減少要因により508,705千円の資金収入(前年同期は626,820千円の資金収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出170,039千円、無形固定資産の取得による支出29,795千円等の減少要因により210,374千円の資金支出(前年同期は153,866千円の資金支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

新株予約権の行使による自己株式の処分による収入26,812千円の増加要因に対し、配当金の支払額61,705千円等の減少要因により35,053千円の資金支出(前年同期は52,172千円の資金支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率	89.6	86.4	90.9	90.4	90.5
時価ベースの自己資本比率	44.5	85.4	61.2	62.5	51.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

(注) 1. 各指標の算出方法は以下のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、当社は有利子負債及び支払利息がないため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は足元では、半導体関連業界への新規設備投資や生産増によるメンテナンス需要が増加傾向にあります。しかしながら、引き続きコロナウイルス感染の収束は見えず、先行き不安から設備投資に対する姿勢が未だ慎重な状況であります。日本経済においても、同様の状況となり、依然としてコロナウイルス感染拡大の懸念を抱えた厳しい状況にあります。このような状況のもと、当社グループは引き続き「コンバム、パッド ナンバー1」を目標に掲げ、真空吸着機器に特化した基礎研究と新製品開発を推し進めます。また、生産効率を考慮した自動化推進の流れによる、各種ファクトリーオートメーションへのロボット需要が増えることが予想されており、当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドの開発と環境に配慮した電動化製品の開発による将来を見据えた取り組みを継続してまいります。次期の業績予想につきましては、連結売上高2,200,938千円、連結経常利益288,615千円、親会社株主に帰属する連結当期純利益189,894千円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する長期的な利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開及び経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、業績に対応した安定配当を行うことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、経営基盤の強化を図りながら、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、市場ニーズに応える製品開発投資、グローバル戦略の展開を図るための投資、さらには、生産体制及びコスト競争力の強化のための設備投資に有効活用することを基本方針としております。

上記の方針を踏まえ、当期の剰余金の配当につきましては、1株につき中間配当金20円00銭に期末配当金20円00銭を合わせて40円00銭とする予定であります。(連結配当性向25.4%)

また、次期の配当は、1株につき中間配当金15円00銭、期末配当金15円00銭の年間配当金30円00銭を予定いたしております。(連結配当性向24.6%)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,153	2,005,509
受取手形及び売掛金	311,296	314,348
電子記録債権	253,633	220,777
製品	176,791	195,993
仕掛品	128,545	145,124
原材料	90,567	93,691
その他	38,417	27,813
貸倒引当金	△311	△401
流動資産合計	2,743,094	3,002,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,427,666	1,406,079
減価償却累計額	△769,269	△801,812
建物及び構築物（純額）	658,396	604,266
機械装置及び運搬具	1,018,261	1,041,088
減価償却累計額	△738,239	△747,173
機械装置及び運搬具（純額）	280,021	293,915
土地	707,598	701,876
その他	727,164	777,411
減価償却累計額	△627,743	△667,708
その他（純額）	99,421	109,703
有形固定資産合計	1,745,438	1,709,761
無形固定資産	102,079	68,248
投資その他の資産		
投資有価証券	381,009	368,854
繰延税金資産	461	5,760
その他	61,955	85,925
投資その他の資産合計	443,426	460,540
固定資産合計	2,290,943	2,238,550
資産合計	5,034,038	5,241,407

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,978	44,488
未払法人税等	29,620	87,935
賞与引当金	29,916	28,952
その他	213,070	148,840
流動負債合計	300,585	310,216
固定負債		
退職給付に係る負債	138,579	145,408
繰延税金負債	862	24
その他	12,513	12,917
固定負債合計	151,955	158,349
負債合計	452,541	468,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,002,571	1,012,960
利益剰余金	2,789,767	2,972,712
自己株式	△136,246	△119,724
株主資本合計	4,404,217	4,614,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,701	121,742
為替換算調整勘定	9,389	9,460
その他の包括利益累計額合計	147,091	131,202
新株予約権	1,810	—
非支配株主持分	28,377	27,564
純資産合計	4,581,497	4,772,841
負債純資産合計	5,034,038	5,241,407

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,294,628	2,183,479
売上原価	1,060,074	955,740
売上総利益	1,234,553	1,227,739
販売費及び一般管理費	1,020,367	887,512
営業利益	214,186	340,226
営業外収益		
受取利息	2,456	2,826
受取配当金	8,950	9,143
受取地代家賃	11,694	12,046
その他	4,597	5,291
営業外収益合計	27,699	29,306
営業外費用		
売上割引	213	196
為替差損	1,163	1,695
不動産賃貸費用	1,891	1,635
減価償却費	8,661	7,564
その他	350	713
営業外費用合計	12,280	11,805
経常利益	229,606	357,728
特別利益		
固定資産売却益	232	274
特別利益合計	232	274
特別損失		
固定資産売却損	—	210
固定資産除却損	5,652	1,394
減損損失	1,216	—
特別損失合計	6,868	1,605
税金等調整前当期純利益	222,970	356,396
法人税、住民税及び事業税	60,880	109,903
法人税等調整額	10,547	897
法人税等合計	71,427	110,800
当期純利益	151,542	245,596
非支配株主に帰属する当期純利益	3,692	665
親会社株主に帰属する当期純利益	147,849	244,931

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	151,542	245,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,024	△15,959
為替換算調整勘定	△19,718	△1,406
その他の包括利益合計	45,305	△17,366
包括利益	196,848	228,230
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	191,551	229,042
非支配株主に係る包括利益	5,297	△812

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	748,125	994,695	2,718,443	△153,407	4,307,857
当期変動額					
剰余金の配当			△76,525		△76,525
親会社株主に帰属する当期純利益			147,849		147,849
自己株式の取得				-	-
自己株式の処分		7,875		17,160	25,036
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	7,875	71,324	17,160	96,360
当期末残高	748,125	1,002,571	2,789,767	△136,246	4,404,217

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	72,677	30,712	103,389	2,077	23,080	4,436,405
当期変動額						
剰余金の配当						△76,525
親会社株主に帰属する当期純利益						147,849
自己株式の取得						-
自己株式の処分						25,036
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65,024	△21,322	43,701	△266	5,297	48,731
当期変動額合計	65,024	△21,322	43,701	△266	5,297	145,092
当期末残高	137,701	9,389	147,091	1,810	28,377	4,581,497

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	748,125	1,002,571	2,789,767	△136,246	4,404,217
当期変動額					
剰余金の配当			△61,986		△61,986
親会社株主に帰属する当期純利益			244,931		244,931
自己株式の取得				△161	△161
自己株式の処分		10,388		16,683	27,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	10,388	182,944	16,522	209,855
当期末残高	748,125	1,012,960	2,972,712	△119,724	4,614,073

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	137,701	9,389	147,091	1,810	28,377	4,581,497
当期変動額						
剰余金の配当						△61,986
親会社株主に帰属する当期純利益						244,931
自己株式の取得						△161
自己株式の処分						27,072
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△15,959	70	△15,888	△1,810	△812	△18,511
当期変動額合計	△15,959	70	△15,888	△1,810	△812	191,343
当期末残高	121,742	9,460	131,202	-	27,564	4,772,841

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	222,970	356,396
減価償却費	194,403	196,235
減損損失	1,216	-
有形固定資産除却損	5,652	1,394
有形固定資産売却損益(△は益)	△232	△63
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△91	83
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,344	△902
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,160	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,542	6,839
受取利息及び受取配当金	△11,407	△11,969
売上債権の増減額(△は増加)	154,977	30,109
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,902	17,053
たな卸資産の増減額(△は増加)	129,710	△38,772
その他	2,132	△12,915
小計	674,465	543,491
利息及び配当金の受取額	11,407	11,969
法人税等の還付額	1,952	6,160
法人税等の支払額	△61,004	△52,915
営業活動によるキャッシュ・フロー	626,820	508,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△114,492	△110,229
定期預金の払戻による収入	114,492	110,229
投資有価証券の取得による支出	△11,452	△11,392
有形固定資産の取得による支出	△129,609	△170,039
有形固定資産の売却による収入	432	852
無形固定資産の取得による支出	△13,236	△29,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,866	△210,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△161
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	24,769	26,812
配当金の支払額	△76,942	△61,705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,172	△35,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,058	△2,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	416,722	260,625
現金及び現金同等物の期首残高	1,212,207	1,628,930
現金及び現金同等物の期末残高	1,628,930	1,889,555

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、真空機器関連製品の専門メーカーとして、真空機器及び真空機器関連製品等の製造・販売を行っており、国内においては当社が、海外においては韓国、中国及びその他に所在する子会社が、事業活動を展開しております。

当社では、経営管理区分上、各子会社を地理的近接度等によって区分、集計し業績の評価を行っております。

したがって、当社グループのセグメントは、主に製造・販売体制及び量的規模を勘案した地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「韓国」、「中国」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、負債その他項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,610,058	405,482	137,579	2,153,121	141,507	2,294,628
セグメント間の内部売上高 又は振替高	300,380	57,310	—	357,691	—	357,691
計	1,910,439	462,793	137,579	2,510,812	141,507	2,652,319
セグメント利益又は損失(△)	229,755	△42,598	22,274	209,431	4,754	214,186
セグメント資産	4,606,027	357,903	110,606	5,074,537	103,577	5,178,114
セグメント負債	412,117	20,347	26,469	458,933	35,663	494,597
その他の項目						
減価償却費	184,622	5,756	2,808	193,187	1,216	194,403
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	192,383	1,995	—	194,379	362	194,742

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,585,705	334,124	143,593	2,063,422	120,057	2,183,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	261,362	94,215	—	355,578	—	355,578
計	1,847,067	428,339	143,593	2,419,001	120,057	2,539,058
セグメント利益又は損失(△)	334,103	△19,783	19,737	334,058	6,168	340,226
セグメント資産	4,825,162	361,506	112,630	5,299,300	103,561	5,402,861
セグメント負債	425,030	40,065	28,019	493,115	35,991	529,107
その他の項目						
減価償却費	188,364	4,459	2,709	195,534	701	196,235
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	145,239	2,086	1,603	148,929	315	149,244

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該金額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,510,812	2,419,001
「その他」の区分の売上高	141,507	120,057
セグメント間取引消去	△357,691	△355,578
連結損益計算書の売上高	2,294,628	2,183,479

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	209,431	334,058
「その他」の区分の利益	4,754	6,168
セグメント間取引消去	—	—
連結損益計算書の営業利益	214,186	340,226

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,074,537	5,299,300
「その他」の区分の資産	103,577	103,561
セグメント間取引消去	△144,076	△161,454
連結貸借対照表の資産合計	5,034,038	5,241,407

(単位:千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	458,933	493,115
「その他」の区分の負債	35,663	35,991
セグメント間取引消去	△42,056	△60,541
連結貸借対照表の負債合計	452,541	468,565

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	193,187	195,534	1,216	701	—	—	194,403	196,235
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	194,379	148,929	362	315	—	—	194,742	149,244

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	2,950.28 円	3,048.52 円
1株当たり当期純利益金額	96.40 円	157.41 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	95.73 円	157.39 円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	147,849	244,931
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	147,849	244,931
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,533	1,555
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	10	0
(うち新株予約権) (千株)	(10)	(0)
希薄化効果を有しないため、 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の 算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	4,581,497	4,772,841
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	30,187	27,564
(うち新株予約権) (千円)	(1,810)	(—)
(うち非支配株主持分) (千円)	(28,377)	(27,564)
普通株式に係る純資産額 (千円)	4,551,309	4,745,276
普通株式の発行済株式数 (千株)	1,657	1,657
普通株式の自己株式数 (千株)	114	100
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数 (千株)	1,542	1,556

(重要な後発事象)

該当事項はありません。